

令和5年度定期作況報告

6月20日現在
道総研酪農試験場

I. 気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬：最低気温は5.5℃でやや低く、最高気温は19.2℃と平年並で、平均気温は12.2℃で平年並であった。降水量は20.5mmで平年より12.9mm少なかった。日照時間は79.6時間で平年より14.4時間多かった。5月25日に降霜が確認された。

6月上旬：最低気温は7.9℃、最高気温は19.1℃と平年並で、平均気温は13.4℃で平年より1.1℃高かった。降水量は52.5mmで平年より15.0mm多かった。日照時間は46.3時間で平年より11.1時間少なかった。

6月中旬：最低気温が10.1℃と平年より1.2℃高く、最高気温が19.3℃と平年より2.0℃高かったため、平均気温は14.4℃で平年より1.8℃高かった。降水量は4.0mmで平年より52.0mm少なかった。日照時間は30.6時間で平年より3.9時間多かった。

この1ヶ月間は6月中旬の降水量が極めて少なく、6月中旬の気温が高く推移したことが特徴的で、総じて、気温はやや高く、降水量はやや少なく、日照時間は平年並であった。

気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (°C)	12.2	12.0	0.2	13.4	12.3	1.1	14.4	12.6	1.8	13.3	12.3	1.0
最高気温 (°C)	19.2	18.7	0.5	19.1	18.4	0.7	19.3	17.3	2.0	19.2	18.1	1.1
最低気温 (°C)	5.5	6.5	△ 1.0	7.9	7.2	0.7	10.1	8.9	1.2	7.8	7.5	0.3
降水量 (mm)	20.5	33.4	△ 12.9	52.5	37.5	15.0	4.0	56.0	△ 52.0	77.0	126.9	△ 49.9
降水日数 (日)	4.0	4.1	△ 0.1	6.0	3.6	2.4	5.0	4.4	0.6	15.0	12.0	3.0
日照時間 (時間)	79.6	65.2	14.4	46.3	57.4	△ 11.1	30.6	26.7	3.9	156.5	149.3	7.2

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は負の値を示す

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況： やや良

事 由

播種日は平年より 1 日早く、播種後から出芽までの気象は概ね平年並であったことから、出芽期は平年と同日であった。出芽後は、高温傾向で推移したため生育が進んだ。6 月 20 日現在の草丈は平年よりも 5cm 高く、出葉数は平年よりも 0.2 枚多かった。

これらのことから、目下の作況はやや良と判断される。

品種名	出芽期(月日)			草丈 (cm)			出葉数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較

たちぴりか	5.27	5.27	0	31	26	5	5.6	5.4	0.2
-------	------	------	---	----	----	---	-----	-----	-----

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 29 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1番草 やや不良

事由

越冬後から5月中旬までの生育は順調であったが、5月下旬は降水量が少なかったことから2年目草地で生育の停滞がみられた。1番草の出穂始期は平年よりも2年目草地で6日、3年目草地で5日早かったため、1番草の刈取りは平年より3日早い6月12日に行った。1番草刈取り時の草丈は平年よりも2年目草地で8cm低く、3年目草地で3cm高かった。1番草の乾物収量は、2年目草地で530kg（平年比82%）と不良、3年目草地で586kg（平年比99%）と平年並であったことから、総じてやや不良であった。

2番草の6月20日現在の草丈は、2年目草地で11cm、3年目草地で12cmであった。

以上のことから、1番草の作況はやや不良と判断される。

草地	草種	1番草									2番草		
		出穂始期(月.日)			刈取月日(月.日)			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	6.6	6.12	△6	6.12	6.15	△3	98	106	△8	11	11	0
「なつちから」3年目	TY単播	6.6	6.11	△5	6.12	6.15	△3	105	102	3	12	11	1

草地	草種	1番草							
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比指数	
「なつちから」2年目	TY単播	2846	3482	△636	530	646	△116	82	
「なつちから」3年目	TY単播	3047	3022	25	586	590	△4	99	

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目、3年目ともに令和4年)を除く5ヶ年平均値。なお、2番草の6月20日時点の草丈は、1番草を収穫していない平成29年を除いた平均値とした。

注3) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1番草 平年並

作況：2番草 やや良

事由

越冬後から5月中旬までの生育は順調であったが、5月下旬は降水量が少なかったことから2年目草地で1番草の生育停滞がみられた。2年目草地では、1番草の草丈は平年よりも13cm低かったが、乾物収量の平年比指数は103と平年並であった。3年目草地では1番草の草丈は平年と同程度であり、乾物収量の平年比指数は104と平年並であった。

6月上旬は平年より平均気温がやや高く、降水量も多かったことから、2番草の6月20日現在の草丈は平年よりも2年目草地で3cm、3年目草地で11cm高く、総じてやや高かった。

以上のことから、現時点での作況は1番草が平年並、2番草がやや良と判断される。

草地	草種	1番草						2番草		
		刈取月日(月.日)			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	6.1	6.1	0	52	65	△13	47	44	3
「ハルジマン」3年目	OG単播	6.1	6.1	0	47	47	0	48	37	11

草地	草種	1番草							
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)	
「ハルジマン」2年目	OG単播	1053	1149	△96	238	230	8	103	
「ハルジマン」3年目	OG単播	631	781	△150	159	152	7	104	

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和4年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。

メドウフェスク単播

作況：1番草 良
作況：2番草 良

事由

5月下旬は降水量が少なかったが生育は順調であった。1番草の草丈は2年目草地、3年目草地ともに平年と同程度であった。1番草の乾物収量の平年比指数は2年目草地で141と良であった。3年目草地では越冬後の冬損状態が平年より大きかったこともあり、1番草の乾物収量の平年比指数は88と不良であったが、2年目草地の乾物収量を考慮すると総じて良であった。

6月上旬は平年より平均気温がやや高く、降水量も多かったことから、2番草の6月20日現在の草丈は平年よりも2年目草地で10cm、3年目草地で12cm高かった。

以上のことから、現時点での作況は1番草が良、2番草が良と判断される。

草地	草種	1番草						2番草		
		刈取月日(月.日)			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	6.1	6.1	0	54	54	0	46	36	10
「まきばさかえ」3年目	MF単播	6.1	6.1	0	42	42	0	42	30	12

草地	草種	1番草							
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)	
「まきばさかえ」2年目	MF単播	1232	1075	157	298	211	87	141	
「まきばさかえ」3年目	MF単播	398	603	△205	112	127	△15	88	

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和3年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。